

# 平成27年度 佐渡市体育部 活動報告

部長 野口 幸雄

## 1 研修の方針

「かかわり合い 学び合う 体育学習 ～言語活動の充実を通して～」をテーマに、授業研究や講習会、体力向上の取組の共有化を通して研修を深める。

## 2 活動の様子

### (1) 研修推進部（授業研究2回）

① ア 期 日 7月8日(水) イ 会 場 金井小学校

ウ 授業者 教諭 三本 雄樹

エ 指導者 真野小学校 教頭 濱田 晴明 様

オ 単 元 第6学年水泳「ゆったり ながく 泳ごう」

カ 協議内容

○水泳攻略カードの活用による、学び合いによる技能の向上について

手や膝の動きが書いてあるカードを見て、練習する視点を決めて練習している姿が見られたペアがいる一方で、カードを見ずに練習するペアも見られた。指導者からは、『とても詳しく説明してあるカードを自作で準備をしていたことがよい。』『カードを活用する際に、前時からのつながりを確認しながら自分の課題を確認できるとよかった。』『カードにフローチャートを作っているとさらに活用しやすいものになる。』という指導があった。

○授業後のビデオカメラやICレコーダーの使用は、言語活動の充実につながったかについて

授業者からは、ビデオカメラを休み時間に流したり、ICレコーダーの記録は学級だよりにして配布したりして、学級に広めたり、授業の評価に生かしたりしているとの話があった。指導者からは、『「学び合い」をしっかりと定義づけることが大切。』『「できる」「教える」「説明できる」「分からない原因を聞き出せる」などの段階を追って育てていかなければならない。』との指導があった。

② ア 期 日 12月9日(水) イ 会 場 河崎小学校

ウ 授業者 教諭 小田 俊裕

エ 指導者 松ヶ崎小学校 校長 小畑 一二美 様

オ 単 元 第4学年「折り返しリレー・長なわ跳び」

カ 協議内容

○前時の学習で共有できたコツをオノマトペとして示したことは、

確かな運動技能を身に付けるために有効であったかについて

コツをオノマトペで伝えることは有効だった。また、タンバリンのリズムもよかった。しかし、本時ではほとんどの子が手押し車ができていた状態だったので、コツを教え合う姿があまり見られなかった。グループ内での見合う場所や、見る視点について教えると、さらに教え合いが活発になったのではないかという意見があった。

○全体で動きを見合う視点を焦点化してからの、グループでの教え合いやコツの伝え合いは、学び合いながら学習をする上で有効であったかについて

コツの共有化により、グループで伝え合ったり、意識した動きづくりをしたりする姿が見られた。指導者からは、『グループでの伝え合いもあるが、ときにはグループごとに全体に見せ合う活動があってもよい。』『中学年の体づくり運動では質の高まりが大切である。そのためには、課題を組み合わせる（「～しながら…する」）とよい。それを単元の中にどう組み込んでいくのか授業者は考えてほしい。』との指導があった。



### (2) 体力向上部

① 体力向上のまとめ

ア 佐渡市の小学生の体力 イ 各校の体力向上の取組紹介

### (3) 広報部

① 「体育部だより」の発行

## 3 成果と課題

今年度は、初めて2回の授業研究を行い、かかわり合い、学び合うための手だての有効性について研修を深めることができた。体力の向上と言語活動の充実をいかにしてバランスよく取り入れることができるのか、来年度もさらに研修を深めていきたい。